

このたびは、PROGRAM BOX Gen2 をお買い上げいただきありがとうございます。 この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。 本製品の性能を十分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い 申し上げます。 なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

安全に使用していただくための注意事項 注意

■本製品は SANWA プロボ専用です。他社製品でのご使用は、メーカーによって仕様が異なるため本製品の故障の原因となりますので使用しないでください。 ■本製品にバッテリーを接続する際に極性(+/-)は絶対に間違えないでください。逆接すると瞬時にプログラムボックス自体が壊れます。 ■本製品は電子部品を搭載しており、大変水に弱いため雨天時や水たまりのある場所では絶対に使用しないでください。

の特長 าลอาสสารการการส

- ■SUPER VORTEX Gen2 のファームウェアのアップデートを含む全ての調整が可能になります。
- ■マイクロ SD カード対応で、プログラム ボックスで設定したデータや、対応する送信機で設定された SUPER VORTEX Gen2 の設定値を マイクロ SD カードに保存することができます。(※マイクロ SD カードは別売り)
- ■PROGRAM BOX Gen2 が対応しているマイクロ SD カードは、マイクロ SD/マイクロ SDHC カードになります。

※PROGRAM BOX Gen2 ではマイクロ SD カード内のファイル削除はおこなえません。不要なファイルは PC などで削除してください。

テクニカルデータ	付属
使用電源・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3.6V~7.4V	■COM ケーブル・・・・・・・
す法・・・・・・・・・・・86.2×59.0×19.2mm(突起部含ます)	■雪池ボックス・・・・・・・・・

■ 舌 昰

■COM ケーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	1ヶ
■電池ボックス・・・・・・・・・・・・・・・	• -	1ヶ
■取扱説明書(本書)・・・・・・・・・・・・・	• -	1部

各部の名称

- ●PROGRAM BOX Gen2 の COM ポートと SUPER VORTEX Gen2 を COM ケーブルで接続して使用します。
- 注)SUPER VORTEX Gen2 と PROGRAM BOX Gen2 を接続して使用する場合には SUPER VORTEX Gen2 のファームウェアをアップデート しないと PROGRAM BOX Gen2 と通信できません。使用する前に必ずファームウェアをアップデートしてください。
- ●雷源について
- SUPER VORTEX Gen2 と接続して使用する場合は SUPER VORTEX Gen2 の BEC から電源供給されます。
- 同梱されている電池ボックスを使用することで PROGRAM BOX Gen2 単体での動作も可能になります。
- ※電池 BOX を使用する場合に電池の電圧が下がると PROGRAM BOX が正常に動作できなくなります。
- 「LOW BATTERY」の表示が出た場合はすみやかに電池を交換してください。
- ※電池 BOX を使用して PROGRAM BOX Gen2 を動作させる場合には編集したデータをマイクロ SD カードに保存することはできますが、 SUPER VORTEX Gen2 との通信はおこなえませんのでご注意ください。

※PROGRAM BOX Gen2 のメニューには、設定方法によっては使用できなくなるメニューや将来的な機器に対応するメニューが含まれています。 機能の設定については十分注意して設定してください。



PROGRAM BOX 使用する前に	
●PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 を接続した際に SUPER VORTEX Gen2 のファーム に対応していません。使用する前に必ずファームウェアをアップデートしてください。 ・ファームウェアをアップデートしていない状態で接続するとキー操作した際にアップデートのメッセージが表	ムウェアが PROGRAM BOX Gen2 読示されます。
ESC N:BCK ESC CONNECT OK ? (接続確認) 画面で URESION NOT Same メッセージョ CONNECT OK?Y:ENT キー操作 (ENTER) の際に右図のメッセージ Please Update!! のソフトが が表示されます。 あ示になりま	表示後、ESC <u>B0X:V01.02R001</u> 一致していない <u>G2:V01.01R002</u> ます。 BACK ■
BACK 操作でインフォメ	ーションへ移動 INFORMATION [4]

1) 弊社 HP からファームウェアをマイクロ SD カードにダウンロードして、PROGRAM BOX Gen2 のマイクロ SD カードスロットに挿してください。 ※書き込みをおこなう PC の OS には依存しません。 2) PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 を COM ケーブルで接続してください。



3)ESC PROGRAM UPDATE のメニューへ移動します。

PROGRAM BOX Gen2	TING [1] $\xrightarrow{\bullet}$ TELEMETI	RY & [2]	GRAM [3]	INFORMATION [4]
SANWA V1.02R001 ↔ ESC SET	NU \rightarrow :ENT $\xleftarrow{\bullet}$ CODE AS:	SIGN→:ENT	→:ENT	(VERSION) →:ENT

4)ENTER するとファイル選択画面に切り替わりますので、ファームウェアファイル (G21012003) を選択して ENTER します。

ファームウェアファイル	
ESC PROGRAM [3] ENTER 362102003 :U/D ENTER (UPDATE >0102003	\rightarrow (UPDATE)0101002
UPDATE >:ENT > SELECT UK? Y:ENT > ·····00000	50-62 0102003

5) ファームウェアがアップデートされて PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 がリンク可能になります。

アップデート後は PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 を接続して電源 ON にすると接続確認のメニューからスタートします。 設定する内容に合わせてメニューを選択してください。

メニューについて <u>าวสำคัดสิทธิตั้งได้จะเพ</u>

●PROGRAM BOX Gen2 は SUPER VORTEX Gen2 の各種設定変更がおこなえる ESC SETTING MENU とテレメトリーやコード AUX の設定に 関する設定変更がおこなえる TELEMTRY & CODE ASSIGN と SUPER VORTEX Gen2 のプログラムアップデートをおこなう ESC PROGRAM UPDATE の項目にわかれております。設定する内容にあわせてメニュー選択をおこなって設定してください。



(VERSION) →:ENT

PROGRAM BOX

●ESC SETTING MENU について

ESC SETTING MENU は SUPER VORTEX Gen2 の各種設定がおこなえるメニューです。

※設定内容の変更に関して、PROGRAM BOX 内にデータを読み込み / 編集作業をおこない、SUPER VORTEX Gen2 に編集したデータを書き込む ことで作業が完了する仕組みです。



PROGRAM BOX セッティングメニューの調整について

ESC 接続

ESC

CONNECT

●セッティングメニューの調整について (ファームウェア Ver.01.02R001) SUPER VORTEX Gen2 と PROGRAM BOX を接続して PROGRAM BOX に SUPER VORTEX Gen2 の設定内容を読み込んで

設定内容を PROGRAM BOX 内で編集してから SUPER VORTEX Gen2 に書き込むことによって設定変更が反映される仕様になっております。 設定変更は設定するメニューを選択してエンター [ENTER]操作後、UP ボタン [▲]/DOWN ボタン [▼] で設定値を変更してください。

小注意 設定変更したあとは必ず SUPER VORTEX Gen2 へ書き込み作業をおこなってください。(P.3 参照)

标確認 ENT	ER				
N: BCK OK?Y: ENT	Firmware (01) [SV-62 0102003] ▼↓ ↑▲	$\rightarrow VIE$	TING DATA <3> W&EDIT →∶ENT		
・TEMP1 (FET 温度)	TEMP1 FET (02) MAX [101]°C				
・TEMP2 (モーター温度)	TEMP2 MOTOR (03) MAX [102]°C	PROGRAI	W BOX を接続した	-際に	
・TEMP3 (CPU 温度)	TEMP3 CPU (04) MAX [103]°C	ESC 本体 最大値	本に保存されてし を表示します。 できる機能でけ	いる	+ 4.
 ・モーター回転 (最高回転数) 	数 MOTOR REV. (05) MAX [36500]rpm			0761	
・バッテリー電 (最低電圧)	E BATTERY (06) MIN [3.6]U				
・モード 1 (カットオフバッテリ-		$ \begin{array}{c} \text{ENTER} \rightarrow \\ \leftarrow \text{BACK} \end{array} $	M01 CUT-BT >6.4V	(07) :U/D	設定範囲 [OFF/3.0 ~ 7.0V]
・モード 2 (バックキャンセル	// M02 BACK (08) [OFF] →:ENT	$\begin{array}{c} \text{ENTER} \rightarrow \\ \leftarrow \text{BACK} \end{array}$	M02 BACK >OFF	:U/D	設定範囲 [OFF(バック無し)/ON(バック有)]
・モード 3 (ヒートプロテクト 「本体 / モーター温!	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	$\begin{array}{c} ENTER \rightarrow \\ \leftarrow BACK \end{array}$	M03 HEAT-P >120∕ 80°C	∶U⁄D	設定範囲 [120/80℃,120/90℃,120/100℃,120/110℃,120/120℃,0FF]
・モード 4 (ブースト)	M04 BOOST (10) [OFF] →:ENT	$\begin{array}{c} \text{ENTER} \rightarrow \\ \leftarrow \text{BACK} \end{array}$	MØ4 BOOST >OFF	:U/D	設定範囲 [OFF/ON]
・モード 5 (チャンネル ID)	M05 CH-ID (11) [2]ch+:ENT	$\begin{array}{c} \text{ENTER} \rightarrow \\ \leftarrow \text{BACK} \end{array}$	M05 CH-ID > 2ch	:U/D	設定範囲 [1/2/3/4] ※将来的な機能に対応するもので、通常は[2]
・データ 1 (スロットルパンラ	E) D01 TH-PAN (12) [0] →:ENT ▼↓ ↑▲	$ \begin{array}{c} ENTER \rightarrow \\ \leftarrow BACK \end{array} $	D01 TH-PAN > 0	:U/D	設定範囲 [0~100]
・データ2 (ニュートラルブレーキレー	D02 N-BR-R (13) [0] →:ENT	$\begin{array}{c} \text{ENTER} \rightarrow \\ \leftarrow \text{BACK} \end{array}$	D02 N-BR-R > 0	:U/D	設定範囲 [0~100]
・データ 3 (ドライブフィー)	D03 DRU-F (14)	$\begin{array}{c} \text{ENTER} \rightarrow \\ \leftarrow \text{BACK} \end{array}$	D03 DRV-F > 60	:U/D	設定範囲 [0~100]※初期値 [60]
・データ 4 (ニュートラルブレーキフィ	->>> D04 N-BR-F (15)	$\begin{array}{c} ENTER \rightarrow \\ \leftarrow BACK \end{array}$	D04 N-BR-F > 20	:U/D	設定範囲 [0~100]※初期値 [20]
・データ 5 (ブレーキフィー)	D05 BR-F (16)	$\begin{array}{c} \text{ENTER} \rightarrow \\ \leftarrow \text{BACK} \end{array}$	D05 BR-F > 0	:U/D	設定範囲 [0 ~ 100]
・データ 6 (ブーストレート/進作	DØ6 BOST-R (17)	$\begin{array}{c} \text{ENTER} \rightarrow \\ \leftarrow \text{BACK} \end{array}$	D06 BOST-R > 0	:U/D	設定範囲 [0~100]
・データ 7 (ターポ)	D07 TURBO (18)	$\begin{array}{c} ENTER \longrightarrow \\ \leftarrow BACK \end{array}$	D07 TURBO > 0	:U/D	設定範囲 [O ~ 50] ※50 以上に設定しても変化しません。
・データ 8 (ブーストスタート	D08 BOST-5 (19)	$\begin{array}{c} \text{ENTER} \rightarrow \\ \leftarrow \text{BACK} \end{array}$	D08 BOST-S > 0	:U/D	設定範囲 [O ~ 100] ※23,000rpm ~3,000rpm まで変化します。(1step 200rpm)
・データ 9 (ブーストアクセレレーショ	ען 1009 BOST-A (20) 1003 →:ENT	$\begin{array}{c} \text{ENTER} \rightarrow \\ \leftarrow \text{BACK} \end{array}$	D09 BOST-A > 0	:U/D	設定範囲 [0 ~ 100] ※1,000mm 当たりの進角加算量 推奨値 17.5T「45 ~ 80」、13.5T「14 ~ 45」、モデファイ「1 ~ 8」
・データ 10 (ニュートラルデッドバント	D10 DEAD-B (21) [25] →:ENT	$ \begin{array}{c} ENTER \rightarrow \\ \leftarrow BACK \end{array} $	D10 DEAD-B > 25	∶U⁄D	設定範囲 [10 ~ 50]※初期値 [25]
	Fin	mware	(01)		
	BACK	-62 0102	0031		

テレメトリー&コードアサインメニューについて PROGRAM BOX

TELEMETRY は弊社テレメトリー対応送信機のみの対応となります。(M12S/EXZES ZZ/M12/EXZES Z/MT-4S/MT-4/MT-S) CODE 10 は対応する M12S/EXZES ZZ のみの対応となります。

- ●TELEMETRY&CODE ASSIGN MENU について (ファームウェア Ver.01.02R001)
- ●TELEMETRY&CODE ASSIGN MENU はテレメトリーとコードアサインに関する設定をおこなうメニューです。 ※将来的な機能の拡張に対応するメニューで、現時点ではプロポに表示するテレメトリーデータの入れ替えやコードAUXで調整する機能の ON/OFF が可能です。

 ・本機能を使用される場合は マイクロ SD カードを挿し 	マイクロ SD た た初回には下言	コードを必ず挿入 記の表示になりま	してください。 ます。				0 2010 01	
NO AS-FILE N:BCK CREATE OK? Y:ENT	$ENTER \rightarrow$	<card crea<="" td=""><td>$TE \rightarrow T00 T CH[2]$</td><td>'LM1 (01 R[1]→:EN</td><td>С Н</td><td><<<<no can<br="">Please In:</no></td><td>RD>>>> sert !!</td><td></td></card>	$TE \rightarrow T00 T CH[2]$	'LM1 (01 R[1]→:EN	С Н	<<< <no can<br="">Please In:</no>	RD>>>> sert !!	
注) この表示はマイクロ SD た	ードに対応するフ	アイルが無い為です	す。 ファイル	生成後 TLM1(O1)		ィクロ SD カード	を挿入せずに E	INTER
・TELEMETRY メニュー					L	操作すると警告メッ ク	セージが表示さ	inat.
※送信機へのテレメトリーデ [R](※リターン)の設定値 出荷時は TL M1(SUPER V/)	ータは4つの機 を変更すること	齢に限られます でプロポへ表示 の FFT 温度), TI	「 するテレメトリーの内容を M2(モーター温度), BPM	変更できます。 1(モーター回転表	(表示する単(数). VOLT(パ	立の関係によっ て ッテリー雷圧しと	て制限があり	ます。)
(O1) TLM1・・・テレメ (O2) TLM2・・・テレメ	トリー1の設定 トリー2の設定	をおこなうメニ をおこなうメニ	ュー (出荷時は SUPER V ユー (出荷時はモーター温	ORTEX Gen2 度)	の FET 温度)			
 (O3) RPM1・・・セータ・ (O4) RPM2・・・モータ・ (O5) VOLT・・・ま行用 	ー回転数 1 の設 ー回転数 2 の設 バッテロー電圧	愛定をおこなうメ 設定をおこなうメ の設定をおこな	ニュー ミニュー ※出荷時には機能 うメニュー	が OFF になって	こいます。注:	RPM2 が表示でき	る送信機はあ	りません。
※項目の[CH] 設定を変更する	ことも可能です	が、M12SやE	ノノーー ZES ZZ のタイプ変更によ	ってスロットル(ンHが[2]以外	になる場合で SL	JPER VORT	'EX Gen2
を接続するスロットル CH	に合わせて設成	主変更してくださ	い。通常は [2] の設定の	ままで使用してく	ください。			
※CH設定Cテレメトリー表	不惯能の設定さ	「U」に設定す	るC惯能か OFF になりま	9。 出荷咭には機				
T00 TLM1 (01)	TO1 TLM	2 (82)	T03 RPM1 (03)		(04)	таз ногт	(05)	
CH[2] R[1]+:ENT	CHE23 R	. 2]→:ENT	CH[2] R[4]→:EN1		0] →: ENT	CH[2] R[6]→:ENT	
CH 設定 テレメトリー 表示機能	 CH 設定	テレメトリー 表示機能	CH 設定 テレメトリー 表示機能	CH 設定	テレメトリー 表示機能	CH 設定 テ 表	レメトリー 示機能	
CH 設定	設定値	テレ	/メトリー表示機能[R] 設定(<u> </u>	テレメト	リー表示機能 [R]	設定値	
	1					テリー電圧	6	VOLT 限定
	2		<u> てーター温度 Z</u> ODU 温度 3	【 限定		FEI 温度		TLM1/TLM2
CH4	4		<u> している温度</u> 3 モーター回転数 4	— lí	最大		9	限定
CH 設定 OFF	0	最	大モーター回転数 5			後能 OFF	0	
		※テレ	ノメトリー表示機能[R]の	」 設定の10~99	は現状では機能	NOFF になります	<u> </u>	
(06) AUX1CODE01 · · · (07) AUX1CODE02 · · · (08) AUX1CODE03 · · · (09) AUX1CODE04 · · · · (10) AUX1CODE05 · · · (11) AUX1CODE05 · · · (12) AUX1CODE07 · · · (12) AUX1CODE08 · · · (13) AUX1CODE08 · · · (14) AUX1CODE09 · · · · (15) AUX1CODE10 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 ・出荷時時にははSSS ・出荷荷時時にはなSSS ・出荷荷時時にはなSSS ・出荷荷時時にになるSS ・出荷時時にになるSS ・出荷時時にになるSS ・出荷時時にになるSS ・出荷時時にになるSS ・出荷時時にになるSS ・出荷時時にになるSS 	JPER VORTE: JPER VORTE: JPER VORTE: JPER VORTE: JPER VORTE: JPER VORTE: JPER VORTE: JPER VORTE: JPER VORTE:	X Gen2 のモード5(スロ X Gen2 のモード6(ニュ X Gen2 のモード7(ドラ X Gen2 のモード8(ニュ X Gen2 のモード9(ブレ X Gen2 のモード10(ブ- X Gen2 のモード11(グ- X Gen2 のモード12(グ- X Gen2 のモード13(ブ- X Gen2 のモード13(ブ-	ットルパンチ) た ートラルブレー= イブファールし = ーキフレーレし = ーキフレート/ルし = -ボ / スタート/ル -ストアクセレー ュートラルデット	が設定されてい を た い た い た い た い た い た い た い た い た い い い た い た い た い た い た い た い た い た い た い た い た い た い た い た い た た い た た い た た い た た む 設 で た む 設 で た む 設 む に む 設 で た む 設 む に む 読 し れ て た む 記 た の に た む 記 た た む 記 た む 記 た た た た た た た た た た た た た	います。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	-。 ます。 れています。 す。	
AUX1CODE01 (06) CH[2] D[01]→:ENT	AUX1CODE CH[2] D[02 (07) 02]→:ENT	AUX1CODE03 (08) CH[2] D[03]→:ENT	AUX1CODE0 CHE23 DE0	04 (09) 04]→:ENT	AUX1CODE05 CHE23 DE05	5 (10) 5] →: ENT	
CH 設定 設定機能	CH 設定 i		CH 設定 設定機能	CH 設定 設	定機能	CH 設定 設定	≧機能	
AUX1CODE06 (11) CH[2] D[06]→:ENT	AUX1CODE CH[2] D[07 (12) 07]→:ENT	AUX1CODE08 (13) CH[2] D[08]→:ENT	AUX1CODE@ CH[2] D[0	09 (14) 09]→:ENT	AUX1CODE10 CH[2] D[10	3 (15) 3] →: ENT	
CH 設定 設定機能	CH 設定 i	受定機能	CH 設定 設定機能	CH設定設	定機能	CH 設定 設定	E機能	
CH 設定	設定値	(CODE AUX 設定機能 [D]	設定値	CODE AU	X 設定機能 [D]	設定値	
CH1[ST]	1		スロットルパンチ	01	ブーストレ	ノート / 進角	06	
CH2[TH]	2			02	ターホ / スロット 	・ル全開時の進角加算	07	
CH3	3	-		03		- <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	80	
	4			04			10	
				05				
※CODE AUX 設定機能 [1 ※同一場能左複物の CODE	ノーの設定の「1」	~99 は現氷 (1)	よ惯形 UFF になります。 音の原用とたります		1成月			
				フたゆのナのマ		生まして		
		02 (17)			、山19吋に1波		(20)	
CH[0] D[00] +: ENT	CHE03 DE	00]+:ENT	CH[0] D[00]+:ENT)0]→:ENT	CH[0] D[00)))→:ENT	
CH 設定 設定機能	CH設定 i	受定機能	CH 設定 設定機能	CH設定 設	定機能	CH設定 設定		
AUX2CODE06 (21)	AUX2CODE	07 (22)	AUX2CODE08 (23)	AUX2CODE0	9 (24)	AUX2CODE10	3 (25)	
		<u>کی ÷ENT)</u>			<u>Herman</u> tent)		J]→:ENT	
		IX AE TOO BE	○□ Ⅰ 設た 設た機能		AE 103 月七		二1/56日日	
・(26) TELE&CODE WRI PROGRAM BOX 内で語	IE(ESC) 没定内容の変更	夏をおこなった	テレメトリーとコード Al	JX のデータを	SUPER VO	RTEX Gen2	こ書き込む>	イニューです

※(26) TELE&CODE WRITE(ESC) をおこなわないと設定変更が SUPER VORTEX Gen2 に反映されませんのでご注意ください。

	ENTER	書き込み中
TELE&CODE	(26) \rightarrow ESC	N: BCK ENTER(Y) <esc write=""></esc>
WRITE(ESC)	→:ENT ← CONNECT	OK?Y∶ENT → ····ooooo
5	BACK	

PROGRA SANWA	M BOX Gen2 V1.02R001		
•		SETTING DATA <1>	PROGRAM BOX と SUPER VORTEX Gen2 を 接続すると確認画面が表示されます。 ESC N: BCK CONNECT OF 2015 ENT
	BACK		ENTER
		VIEW&EDIT →:ENT	HER ♥ → Firmware (01) ← [SV-62 0102003]
		▼↓ ↑▲ B SETTING DATA <4> WRITE(ESC) →:ENT	ACK ▼↓ ↑▲ TEMP1 FET (02) MAX [101]°C
•	A	▼↓ ↑▲ SETTING DATA <5> SAVE (SD) →:ENT	▼↓ ↑▲ TEMP2 MOTOR (03) MAX [102]°C
		V↓ ↑▲ DATA FACTORY <6> CLEAR(ESC) →:ENT	▼↓ ↑▲ TEMP3 CPU (04) MAX [103] ℃ ESC 本体に保存されている
			▼↓ I▲ MOTOR REV. (05) MAX [36500]rpm ▼↓ ↑ ▲
			BATTERY (06) MIN [3.6]U
	$ \begin{array}{c} \text{TELEMETRY } & \begin{array}{c} \text{CODE} \end{array} \\ \begin{array}{c} \text{CODE} \end{array} \\ \end{array} $ \\ \end{array}	T00 TLM1 (01) CH[2] R[1]→:ENT ▼↓ ↑▲	M01 CUT-BT (07) [6.4]U →:ENT ▼↓ ↑▲
		T01 TLM2 (02) <u>CH[2] R[2]→:ENT</u> ▼↓ ↑▲	M02 BACK (08) LOFFJ →:ENT ▼↓ ↑▲
		T03 RPM1 (03) CH[2] R[4]→:ENT ▼↓ ↑▲	M03 HEAT-P (09) [120/ 80]°C+:ENT ▼↓ ↑▲
	将来的に対応する機器のメニューです。	T04 RPM2 (04) <u>CH[0] R[0]→:ENT</u> ▼↓ ↑▲	M04 BOOST (10) [OFF] →:ENT ▼↓ ↑▲ NOE CU ID (11)
	将来的に対応する機器のメニューです。 日はX2CODE61 (16)	CHE23 RE 63→:ENT ▼↓ ↑▲ PUX1CODE01 (06)	[2]ch→ENT ▼↓ ↑▲ D01 TH-PON (12)
	CH[0] D[00]→:ENT ▼↓ ↑▲ AUX2C0DE02 (17)	CH[2] D[01]→:ENT ▼↓ ↑▲ AUX1CODE02 (07)	
	CHE03 DE003→:ENT ▼↓ ↑▲ AUX2CODE03 (18)	CH[2] D[02]→:ENT ▼↓ ↑▲ AUX1CODE03 (08)	$ \begin{array}{c c} \hline & 0 & \rightarrow & \in \text{ENT} \\ \hline & & & \\ \hline \\ \hline$
•	CHE03 DE003→:ENT ▼↓ ↑▲ AUX2C0DE044 (19)	CH[2] D[03]→:ENT ▼↓ ↑▲ AUX1CODE04 (09)	<u> </u>
	AUX2CODE05 (20)	▼↓ ↑▲ AUX1CODE05 (10) CU103 D1051>+541	L 20J →:ENI ▼↓ ↑▲ D05 BR-F (16) τ-ド9
	▼↓ ↑▲ AUX2CODE06 (21) CH[0] D[00]→:ENT		▼↓ ↑▲ D06 BOST-R (17) [0] →:ENT] ^{₹−K10}
	▼↓ ↑▲ AUX2CODE07 (22) CHE0J DE00J→:ENT	▼↓ ↑▲ AUX1CODE07 (12) CH[2] D[07]→:ENT	▼↓ 1▲ D07 TURBO (18) [0] →:ENT =- ⊮11
	V 1▲ AUX2CODE08 (23) CHE01 DE003→:ENT	▼↓ ↑▲ AUX1CODE08 (13) CH[2] D[08]→:ENT	▼↓ ↑▲ D08 BOST-S (19) [] 0] →:ENT
	AUX2CODE09 (24) CHE01 DE001+:ENT	▼↓ ↑▲ AUX1CODE09 (14) CH[2] D[09]→:ENT	$ \begin{array}{c} $
	AUX2CODE10 (25) CHE01 DE001+:ENT	AUX1CODE10 (15) CH[2] D[10]+:ENT	D10 DEAD-B (21) [25] →:ENT =- 14
	TELE&CODE (26) WRITE(ESC) +: ENT		
•			
l	INFORMATION [4] (VERSION) →:ENT		

メニュー遷移フローチャート

PROGRAM BOX(

6



このたびは、PROGRAM BOX Gen2 をお買い上げいただきありがとうございます。 この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。 本製品の性能を十分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い 申し上げます。 なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

安全に使用していただくための注意事項 注意

■本製品は SANWA Super VORTEX Gen2/PRO 専用です。他社製品でのご使用は、メーカーによって仕様が異なるため本製品の故障の原因となりますの で使用しないでください。

■本製品にバッテリーを接続する際に極性 (+/--) は絶対に間違えないでください。逆接すると瞬時にプログラム ボックス自体が壊れます。 ≤製品は電子部品を搭載しており、大変水に弱いため雨天時や水たまりのある場所では絶対に使用しないでください。

の特長 าววักสวิธาร์แล้อรัต

■SUPER VORTEX Gen2 および SUPER VORTEX Gen2 PRO のファームウェアのアップデートを含む全ての調整が可能になります。 ■マイクロ SD カード対応で、プログラム ボックスで設定したデータや、対応する送信機で設定された SUPER VORTEX Gen2/PRO の設定値を

- マイクロ SD カードに保存することができます。(※マイクロ SD カードは別売り)
- ■PROGRAM BOX Gen2 が対応しているマイクロ SD カードは、マイクロ SD/ マイクロ SDHC カードになります。

※PROGRAM BOX Gen2 ではマイクロ SD カード内のファイル削除はおこなえません。不要なファイルは PC などで削除してください。

テクニカルデータ	付属
用電源・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3.6V~7.4V	■COM ケーブル・・・・・

■使用電源・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	З.	6	Ví	\sim	1.4	4V	
■寸法・・・	·	•	·	•	·	·	•	·	•	•	8	6.	2:	хE	59	.0	×	19	9.2	2n	۱m	n ()	突	起	部	含	まる	ず)	
■重量・・・	·	•	·	·	·	·	•	·	·	•	•	•	•	•	·	•	·	•	•	·	•	•	·	·	·	·	75	g	

· · · · · · · · · · 1 /2 ■ 雷池ボックス・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ヶ ■取扱説明書(本書)・・・・・・・・・・・・・・・1部

品

各部の名称

- ●PROGRAM BOX Gen2 の COM ポートと SUPER VORTEX Gen2/PRO を COM ケーブルで接続して使用します。
- 注)SUPER VORTEX Gen2 と PROGRAM BOX Gen2(ファームウエア Ver.01.03R001) を接続して使用する場合には SUPER VORTEX Gen2 のファームウェアをアップデートしないと PROGRAM BOX Gen2 と通信できません。使用する前に必ずファームウェアをアップデートしてください。 ●電源について
- SUPER VORTEX Gen2/PRO と接続して使用する場合は SUPER VORTEX Gen2/PRO の BEC から電源供給されます。
- 同梱されている電池ボックスを使用することで PROGRAM BOX Gen2 単体での動作も可能になります。
- ※電池BOXを使用する場合に電池の電圧が下がるとPROGRAM BOXが正常にあったよう。 「LOW BATTERY」の表示が出た場合はすみやかに電池を交換してください。
- ※電池 BOX を使用して PROGRAM BOX Gen2 を動作させる場合には編集したデータをマイクロ SD カードに保存することはできますが、 SUPER VORTEX Gen2/PRO との通信はおこなえませんのでご注意ください。

※PROGRAM BOX Gen2 のメニューには、設定方法によっては使用できなくなるメニューや将来的な機器に対応するメニューが含まれています。 機能の設定については十分注意して設定してください。



使用する前に RECERNMBOX ●PROGRAM BOX Gen2(ファームウエア Ver.01.03R001) と SUPER VORTEX Gen2 を接続した際に SUPER VORTEX Gen2 のファームウェア がPROGRAM BOX Gen2 に対応していません。使用する前に必ずファームウェアをアップデートしてください。 ・ファームウェアをアップデートしていない状態で接続するとキー操作した際にアップデートのメッセージが表示されます。 N:BCK ESC CONNECT OK ? (接続確認) 画面で [Version Not Same] メッセージ表示後、ESC BOX: V01.03R001 G2 : V01.02R003 ESC CONNECT 0K?Y:ENT キー操作(ENTER)の際に右図のメッセージ Please Update!! のソフトが一致していない が表示されます。 表示になります。 BACK INFORMATION [4] BACK 操作でインフォメーションへ移動 (VERSION) →:ENT ファームウェアをアップデートすると、以前の設定データは初期化されます。事前に SETTING DATA SAVE(SD) で、マイクロ SD カード に設定を保存しておきアップデート後に SUPER VORTEX Gen2/PRO に書き込んでください。 1) 弊社 HP からファームウェアをマイクロ SD カードにダウンロードして、 PROGRAM BOX Gen2 のマイクロ SD カードスロットに挿してください。 ※書き込みをおこなう PC の OS には依存しません。 2) PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 を COM ケーブルで接続してください。 SUPER VORTEX Gen2 COM ポートへ 電源を接続してください。 00000 PROGRAM BOX 🝊 ENTER BACK \mathbf{O} \bigcirc \circ マイクロ SD カードスロット SANWA セッティング ポート COM ケーブル 3)ESC PROGRAM UPDATE のメニューへ移動します。 $\stackrel{\checkmark}{\leftarrow} \underbrace{ \begin{bmatrix} \mathsf{ESC} \ \mathsf{PROGRAM} \ \mathsf{[3]} \\ \mathsf{UPDATE} \end{array} }_{\rightarrow: \mathsf{ENT}} \stackrel{\checkmark}{\leftarrow} \underbrace{ \begin{bmatrix} \mathsf{INFORMATION} \ \mathsf{[4]} \\ \mathsf{(VERSION)} \end{array} }_{\rightarrow: \mathsf{ENT}}$ PROGRAM BOX PRO SANWA V1.03R001 4)ENTER するとファイル選択画面に切り替わりますので、ファームウェアファイル (G2103001)を選択して ENTER します。 ファームウェアファイル ESC PROGRAM [3] ENTER COLO 3001 :U/D ENTER CUPDATE >0103001 <UPDATE>0102003 UPDATE →:ENT → SELECT OK? Y:ENT → SV-G2P 0103001 5) ファームウェアがアップデートされて PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 がリンク可能になります。 アップデート後は PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 を接続して電源 ON にすると接続確認のメニューからスタートします。 設定する内容に合わせてメニューを選択してください。

※弊社 HP で SUPER VORTEX Gen2 PRO のファームウエアをアップデートした際には上記と同様の方法でアップデートが可能となります。

メニューについて RECTANDOR

●PROGRAM BOX Gen2 は SUPER VORTEX Gen2/PRO の各種設定変更がおこなえる ESC SETTING MENU とテレメトリーやコード AUX の設定に 関する設定変更がおこなえる TELEMTRY & CODE ASSIGN と SUPER VORTEX Gen2/PRO のプログラムアップデートをおこなう ESC PROGRAM UPDATE の項目にわかれております。設定する内容にあわせてメニュー選択をおこなって設定してください。



セッティングメニューについて PROGRAM BOX

●ESC SETTING MENU について

ESC SETTING MENU は SUPER VORTEX Gen2/PRO の各種設定がおこなえるメニューです。

※設定内容の変更に関して、PROGRAM BOX内にデータを読み込み / 編集作業をおこない、SUPER VORTEX Gen2/PRO に編集したデータを書き込む ことで作業が完了する仕組みです。

PROGRAM BOX PRO SANWA V1.03R001
▼ L L L L L L L L L L L L L L L L L L L
▼1 1▲ SETTING DATA <2><2> SETTING DATA LOAD(SD) LOAD (SD) → ENT マイクロ SDカード内のデータを PROGRAM BOX に展開するメニューです。
SETTING DATA <3> <3> SETTING DATA VIEW&EDIT UIEW&EDIT →:ENT ▼↓ ↓▲
SETTING DATA 〈4〉 <4> SETTING DATA WRITE(ESC) WRITE(ESC) →:ENT PROGRAM BOX 内で変更をおこなったデータを SUPER VORTEX Gen2/PRO に書き込むメニューです。
ISETTING DATA <5> <5> SELTING DATA SAVE(SD) SAVE (SD)
・<1>SETTING DATA READ(ESC) ・<1>SETTING DATA READ(ESC)
SUPER VORTEX Gen2/PRO を接続して設定されている内容を PROGRAM BOX に読み込むメニューです。
$\begin{array}{ccc} & & & & & & & & & & & & & & & & & &$
DRUN ♥↓ ▲ ▼▲操作で設定内容確認
 <2> SETTING DATA LOAD(SD) マイクロ SD カードに保存されているデータを PROGRAM BOX に展開するメニューです。 ※マイクロ SD カードにデータが保存されていない場合にはファイル選択できません。 ※<4>SETTING DATA WRITE(ESC) をおこなわないと設定変更が SUPER VORTEX Gen2/PRO に反映されませんのでご注意ください。
FNTFR ▼▲ファイル選択 展開中
SETTING DATA <2> → $[G2V03S00]:U/D[ENTER(Y)] \leftarrow [ENTER(Y)] \leftarrow [SELECT OK? Y:ENT] \rightarrow [COLODD) + [SU-G2P 0103001] + [SU-G2P 010300] + [SU-G2P $
▼▲操作で設定内容確認
・<3> SETTING DATA VIEW&EDIT PROGRAM BOX 内に読み込んだデータの内容の確認と変更をおこなうメニューです。
$ \begin{array}{ccc} & \text{ENIEW} \\ \text{SETTING DATA \langle 3 \rangle \end{array} & \longrightarrow & \text{DATA Ver.} & (01) \\ & & \text{UIEW} \\ \text{WIEW} \\ \text{EDIT} & \rightarrow \\ \text{ENT} & \leftarrow & [\text{SU-G2P 0103001]} \\ & & \text{BACK} & \bigvee \downarrow & \uparrow \blacktriangle \\ \end{array} $
▼▲操作で設定内容確認➡機能の記明は P4 へ
 ・<4> SETTING DATA WRITE(ESC) PROGRAM BOX 内で設定内容の変更をおこなったデータを SUPER VORTEX Gen2/PRO に書き込むメニューです。 ※<4>SETTING DATA WRITE(ESC) をおこなわないと設定変更が SUPER VORTEX Gen2/PRO に反映されませんのでご注意ください。
ENTER 書き込み中
$\begin{array}{ccc} \text{SETTING DATA <4>} \longrightarrow \text{ESC} & \text{N:BCK}(\text{ENEK(T) < ESC WRITE>} \\ \text{WRITE(ESC) \rightarrow :\text{ENT} & \leftarrow \text{[CONNECT OK?Y:ENT]} & \rightarrow & \cdots & \cdots$
・〈5〉 SETTING DATA SAVE(SD) PROGRAM BOX内で設定内容の変更をおこなったデータをマイクロ SD カードに保存するメニューです。 保存するファイル名は [G2V02S00 ~ G2V02S49] からの選択になります。 PRICデータがほちされているファイルに トまきする場合は確認してからのほたになります。
成にフーラが味けられているファイルに工畜さりる場合は暗聴してからの味けになりより。 ※PCでファイル名を変更してしまうと PROGRAM BOX に展開できなくなりますのでファイル名は絶対に変更しないでください。
$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $
・<6> DATA FACTORY CLEAR(ESC) SUPER VORTEX Gen2/PROの設定を出荷状態の初期値に戻すメニューです。 ENTER データクリア中
$\begin{array}{c} \text{DATA FACTORY <6>} \longrightarrow [ESC N:BCK] ENTER(Y) < (ESC WRITE) \\ (CONNECT OK?Y:ENT) \longrightarrow (CONNECT OK?Y:ENT) \longrightarrow (CONNECT OK?Y:ENT) \\ \text{BACK} \end{array}$
※ニュートラル / ハイポイント / プレーキ ポイントもクリアされますので再設定をおこなってください。

PROGRAM BOX 2 セッティングメニューの調整について

●セッティングメニューの調整について (ファームウェア Ver.01.03R001) SUPER VORTEX Gen2/PRO と PROGRAM BOX を接続して PROGRAM BOX に SUPER VORTEX Gen2/PRO の設定内容を読み込んで

設定内容をPROGRAM BOX 内で編集してから SUPER VORTEX Gen2/PRO に書き込むことによって設定変更が反映される仕様になっております。 設定変更は設定するメニューを選択してエンター[ENTER]操作後、UPボタン[▲]/DOWNボタン[▼]で設定値を変更してください。 (/\注

(1)注意 設定変更したあと	は必ず SUPER VORTEX	X Gen2/PRO へ書き込み作業をおこなってください。(P.3 参照)				
ESC N:BCK ENTER CONNECT OK?Y:ENT → ESC 接続確認	DATA Ver. (01) [SV-G2P 0103001] ▼↓ ↑▲	→ SETTING DATA <3> BACK UIEW&EDIT →:ENT				
・TEMP1 (FET温度)	TEMP1 FET (02) MAX [101]°C					
・TEMP2 (モーター温度)	TEMP2 MOTOR (03) MAX [102]°C ▼↓ ↑▲	PROGRAM BOX を接続した際に				
・TEMP3	TEMP3 CPU (04)	ESC本体に保存されている				
(CPU温度)	MAX [103]°C	最大値または最低値を表示します。				
 モーター回転数 (最高回転数) 	MOTOR REV. (05) MAX [36500]rpm	※調登でざる機能ではめりません。				
・バッテリー電圧 (最低電圧)	BATTERY (06) MIN [3.6]U					
・モード 1 (カットオフバッテリー)	M01 CUT-BT (07) [6.4]U →:ENT	ENTER→ M01 CUT-BT (07) ← BACK → M01 CUT-BT (07) >6.40 :U/D ※使用するパッテリーに合わせて調整してください。				
・モード 2 (バックキャンセル)	M02 BACK (08) [OFF] →:ENT	ENTER→ ← BACK → DFF :U/D 設定範囲 [OFF(バック無し)/ON(バック有)]				
・モード 3 (ヒートプロテクト) 「太休 / モーター涅産 1	M03 HEAT-P (09) <u>[120/ 80]°C+:ENT</u>	ENTER→ M03 HEAT-P → BACK >120/ 80°C :U/D [120/80℃,120/100℃,120/10℃,120/120℃,0FF]				
・モード 4	M04 BOOST (10)	ENTER→ M04 BOOST 設定範囲				
(ブースト)	<u>LOFF</u> →: ENT	← BACK → DFF :U/D [OFF/ON]				
・モード 5	M05 CH-ID (11)	ENTER→ M05 CH-ID 設定範囲				
(チャンネルD)	[2]ch+:ENT	← BACK > 2ch :U/D [1/2/3/4]※将来的な機能に対応するもので、通常は[2]				
・データ 1	D01 TH-PAN (12)	ENTER→ D01 TH-PAN 設定範囲				
(スロットルパンチ)	[0] →:ENT	← BACK 2 0 :U/D [0 ~ 100]				
・データ 2	D02 N-BR-R (13)	ENTER→ DØ2 N-BR-R 設定範囲				
(ニュートラルプレーキレート)	[0] →:ENT	← BACK 2 0 :U/D [0~100]				
・データ 3	D03 DRU-F (14)	ENTER→ D03 DRU-F 設定範囲				
(ドライブフィール)	[60] →:ENT	← BACK > 60 :U/D [0~100]※初期値 [30]				
・データ 4	D04 N-BR-F (15)	ENTER→ D04 N-BR-F 設定範囲				
(ニュートラルブレーキフィール)	[20] →:ENT	← BACK 20 :U/D [0~100]※初期値 [20]				
・データ 5	D05 BR-F (16)	ENTER→ D05 BR-F				
(ブレーキフィール)	[0] →:ENT	→ BACK 2 0 :U/D [0 ~ 100]				
 データ6 (ブーストレート / 進角) 	D06 BOST-R (17) [0] →:ENT	ENTER→ DØ6 BOST-R 設定範囲 ← BACK				
・データ 7	D07 TURBO (18)	ENTER→ D07 TURB0				
(ターボ)	[0] →:ENT	→ BACK 2 0 :U/D [0 ~ 50] ※50 以上に設定しても変化しません。				
・データ 8	D08 BOST-S (19)	ENTER→ DØ8 BOST-5				
(ブーストスタート)	[0] →:ENT	→ BACK 2 0 :U/D [O ~ 100] ※23,000rpm ~ 3,000rpm まで変化します。(1step 200rpm)				
・データ 9	D09 BOST-A (20)	ENTER→ DØ9 BOST-A				
(ブーストアクセレレーション)	[0] →:ENT	→ BACK 2 0 :U/D 推奨値 17.5T「45~80」、13.5T「14~45」、モデファイ「1~8」				
・データ 10	D10 DEAD-B (21)	ENTER→ D10 DEAD-B 設定範囲				
(ニュートラルデッドバンド)	[25] →:ENT	← BACK > 25 :U/D [10 ~ 50]※初期値 [25]				
・データ 1 1	D11 F-BR-R (22)	ENTER→ D11 F-BR-R 設定範囲				
(フルフレーキレート)	[0] →:ENT	← BACK 2 0 :U/D [-100 ~ 0]※初期値 [O]				
・データ 1 2 (ターボスローブ)	D12 TB-SLP (23) [0] →:ENT ▼↓ ↑▲	ENTER→ D12 TB-SLP → BACK 2 0 :U/D [O ~ 100]※初期値 [O] 左記太枠部が Super VORTEX Gen2 PRC				
・データ 1 3 (ターボ解放スローブ)	D13 TB-REL (24) [0] →:ENT ▼↓ ↑▲	ENTER→ D13 TB-REL → BACK 20 :U/D [O ~ 100]※初期値 [O] にて追加になった機能になって おります。				
・データ 1 4	D14 TB-DLY (25)	ENTER→ D14 TB-DLY 設定範囲				
(ターボディレイ)	[0] →:ENT	→ BACK 20 :U/D [O ~ 100]※初期値 [O]				
		A Ver. (01) H-G2P 0103001]				



PROGRAM BOX PRO

SANWA V1.03R001

 $\stackrel{\text{enter}}{\rightarrow}$

SETTING DATA <1>

READ (ESC) →:ENT

SETTING DATA <2>

LOAD (SD) →:ENT

VIEW&EDIT →:ENT

SETTING DATA <4>

WRITE(ESC) →:ENT 1

SETTING DATA <5> SAVE (SD) →:ENT

DATA FACTORY <6>

CLEAR(ESC) →:ENT

(01)

(03)

(04)

1

1

1

1 🔺

1 🔺

1

1

1

Δ.

T00 TLM1

TØ3 RPM1

T04 RPM2

BACK

CHE2] RE 1]→:ENT

T01 TLM2 (02)

CHE2] RE 2]→:ENT

CHE23 RE 43+ENT

CHE0] RE 0]→:ENT

▼↓ ↑▲ TØ5 VOLT (Ø5)

CHE23 RE 63→:ENT

AUX1CODE01 (06)

CHE23 DE013→:ENT

AUX1CODE02 (07)

CHE2] DE02]→:ENT

▼↓ ↑▲ AUX1CODE03 (08)

CH[2] D[03]→:ENT

AUX1CODE04 (09)

CH[2] D[04]→:ENT

▼↓ ↑▲ AUX1CODE05 (10)

CH[2] D[05]→:ENT

AUX1CODE06 (11)

CH[2] D[06]→:ENT

AUX1CODE07 (12)

CH[2] D[07]→:ENT

AUX1CODE08 (13)

CHE21 DE081→:ENT

AUX1CODE09 (14)

CH[2] D[09]→:ENT

AUX1CODE10 (15)

CHE23 DE103→:ENT

▼

▼↓ ↑▲

▼↓ ↑▲

1

SETTING DATA <3> →

1 🔺

V.

ESC SETTING [1]

DATA MENU →:ENT

TELEMETRY & [2] → CODE ASSIGN→:ENT ←

将来的に対応する機器のメニューです。

→ CODE ASSIGN+:ENT

将来的に対応する機器のメニューです。

AUX2CODE01 (16)

CH[0] D[00]→:ENT 1

AUX2CODE02 (17)

CHE01 DE001+:ENT

AUX2CODE03 (18) CH[0] D[00]→:ENT

AUX2CODE04 (19)

CHE0] DE00]→:ENT

AUX2CODE05 (20)

CHE01 DE001→:ENT

AUX2CODE06 (21)

CHE0] DE00]→:ENT

▼↓ ↑▲ IAUX2C0DE07 (22)

CHE0] DE00]→:ENT

▼↓ ↑▲ AUX2CODE08 (23)

CHE0] DE00]→:ENT

AUX2CODE09 (24)

CH[0] D[00]→:ENT

AUX2CODE10 (25)

CHE03 DE003→:ENT

TELE&CODE (26)

WRITE(ESC) →:ENT

ESC PROGRAM [3]

INFORMATION [4]

(VERSION) →:ENT

-> UPDATE

▼↓ ↑▲

T

1

1

1

1

1

1

+:ENT

PROGRAM BOX と SUPER VORTEX Gen2 を

接続すると確認画面が表示されます。

CONNECT OK?Y:ENT

[SV-G2P 0103001]

▼↓ ↑▲ TEMP1 FET (

MAX [101]°C

MAX [102]°C 1 🔺 MAX [103]°C

▼↓ ↑▲ MOTOR REU. (05)

MAX [36500]rpm ▼↓ ↑▲ BATTERY (06)

▼↓ ↑▲ M01 CUT-BT (07)

[6.4]V →:ENT

[OFF] →:ENT

[OFF] →:ENT

[2]ch→:ENT

 $\begin{array}{c|c} \hline D02 & N-BK-K & (12)\\ \hline U & 0 & \rightarrow ENT \\ \hline \hline 003 & DRU-F & (14)\\ \hline C & C23 & (14)\\ \hline C & C33 & (14)\\ \hline \end{array} \\ t = 577 \\ \hline \end{array}$

[60] →:ENT

D04 N-BR-F (15) =- 58

BR-F (16) [0] →:ENT =-⊮9

モード10

モード12

∓−ド13

[20] →:ENT

▼↓ ↑▲

▼↓ ↑▲

[0] →:ENT ▼↓ ↑▲

[0] →:ENT

[0] →:ENT ▼↓ ↑▲

[0] →:ENT

1 🔺

D10 DEAD-B (21) [25] →:ENT

1

[0] →:ÉNT =-ド15

[0] →:ENT ▼'

[0] →:ENT ==K18

D13 TB-REL (24) =- 17

[0] →:ENT

D07 TURBO (18) E-K11

1

D06 BOST-R (17)

D08 BOST-S (19)

D09 BOST-A (20)

D11 F-BR-R (22)

▼↓ ↑▲ D12 TB-SLP (23)

▼↓ ↑▲

▼↓ ↑▲ D14 TB-DLY (25)

▼↓

V.

▼↓ ↑▲ D05 BR-F (

▼↓ ↑▲

M03 HEAT-P (09)

[120⁄ 80]°C→:ENT

▼↓ ↑▲ M04 BOOST (10)

▼↓ ↑▲ M05 CH-ID (11)

▼↓ ↑▲

D01 TH-PAN (12) [0] →:ENT

▼↓ 1

MIN [3.6]V

▼↓ ↑▲ MØ2 BACK (

ENTER

DATA Ver.

N: BCK

(01)

(02)

PROGRAM BOX を接続した際に

最大値または最小値を表示します。

FSC 木体に保友されている

1 TEMP2 MOTOR (03)

ESC

. BACK

			書き込み中				
	TELE&CODE	(26)	ESC	N: BCK	ENTER (Y)	<esc write=""></esc>	_
	WRITE(ESC)	÷ENT ←	_ CONNECT	OK?Y:ENT	\rightarrow	••••	
5		BAG	Ж				

6